

## 令和8年度 都立小平高校における教科指導の重点

| 重点科目 | 重点課題                                                                         | 取組                                                                                                          | 発展的取組                                                                                   |
|------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語   | ・大学合格を目標とした授業を実施                                                             | ・教科会にて年間授業計画や指導内容を共有、確認<br>・長期休業中の講習及び放課後の補習指導を実施                                                           | ・国公立大学及び難関大学合格のための二次試験指導                                                                |
| 地歴公民 | ・大学入試を前提とした授業、講習の充実                                                          | ・第一志望校合格を前提とした授業の実施<br>・夏期講習や放課後補習等の充実                                                                      | ・難関大学合格を目標に、生徒自身が学校と家庭で自ら学習に取り組める課題提起<br>・新教育課程移行に伴う入試制度の変化に適応できる知識を身に付け、柔軟な思考力の向上を目指す  |
| 数学   | ・数学の良さを認識し活用する態度、数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。                                        | ・数学を活用し問題解決にあたる意欲を評価し、論理的な飛躍の無い答案作成ができるよう指導する。                                                              | ・過去の大学入試問題を題材に、より粘り強く問題解決にあたり、かつ論理的破綻の無い答案作成を指導する。                                      |
| 理科   | ・「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実                                                         | ・学習課題に対して、考察・推論していく授業を実施<br>・各科目において大学入学共通テストの問題分析を実施                                                       | ・国公立大学や難関私立大学受験に対応できるように、思考力・表現力の育成<br>・入試問題の演習を行い応用力を育成                                |
| 保健体育 | ・健康や体力の向上及び基礎的な知識・技能の向上において、主体的・対話的に学び、思考力・判断力・表現力を養う。                       | ・定例教科会にて、年間授業計画や進捗状況を共有し、指導項目について確認する。<br>・グループ活動を積極的に取り入れ、自己や他者の課題を把握し、解決策を考え実践する。                         | ・3年生での種目選択では、授業案の作成・実施・振り返りまでを生徒主体で行う。<br>・2年生での保健では、ICTを活用した発表を行う。<br>・教科横断的な学びを実践する。  |
| 芸術   | ・生涯にわたり芸術を愛好する心情を育む。                                                         | ・感性を高める。<br>・豊かな情操を培う。                                                                                      | ・心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。                                                                 |
| 外国語  | ・英語によるコミュニケーション能力を高めることで、自ら発信する姿勢や意欲を高め、国際理解教育の素地を育む                         | ・Student-teaching Projectの実施・留学生を受け入れによる長期間にわたる異文化体験・次世代リーダー育成道場等による積極的留学支援・TTによる充実した英語での授業・生徒自ら発信する英語教育の実践 | ・アメリカ語学研修(2週間)・テンプル大学ジャパンキャンパスと連携した夏期英語スキルアップ講座(5日間)・台湾修学旅行・海外大学進学支援など英語で発展的に学び続ける素地を磨く |
| 家庭   | 国際社会・地域社会に貢献できる、自立した社会人を育成する。                                                | 各分野の学習において、自国の伝統文化理解と異文化理解を取り入れ、共生社会の実現に取り組む態度を育てる。                                                         | ホームプロジェクトでは自分ごとから家庭、地域社会、世界へと視野を広げ、諸課題の解決に向けた探究活動につなげる。                                 |
| 情報Ⅰ  | 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う                                                   | 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う                                                  |